

千代田図書館

Check

夏期は9時から開館しています。

千代田図書館は、学校の夏休み期間に合わせた2017年8月31日(木)まで、通常午前10時開館のところ、午前9時から開館しています。夏期はお子さんだけでなく、大人の方のご利用も増えて、日中は大変混雑します。閲覧席にも余裕のある午前中にぜひご来館ください。

座席はみなさんが平等に使えるようにご配慮ください。

お荷物を置いたまま、席を離れることのないようお願いいたします。1時間以上、離席している方のお荷物は、一時的にお預かりします。また、上着のポケットなどに貴重品を入れたままイスにかけておくと、スリなどにあう可能性がありますのでお気を付けください。

飲料と本と一緒に持ち歩くときにはご注意ください！

ペットボトルなど、冷たい飲料を持ち歩くことが多くなる夏。かばんに入れたペットボトルなどについた水滴に触れて、本がヨレヨレになってしまうことがあります。本を持ち歩くときは、ビニール袋へ入れるなどのご配慮をお願いします。



Illustration_Satoshi Ogawa

Information

展示ウォール

書評紙が選ぶ、今すぐ読みたいベスト16 開催中～10月21日(土)

書評紙「週刊読書人」と「図書新聞」が、この1年間に紙面で紹介した書籍の中から、文学・ルポルタージュ・サイエンス・芸術など8つのカテゴリで、それぞれベストな1冊をセレクトしました。ベスト16冊をパネルで紹介するほか、両紙が推薦する約150冊もあわせて展示・貸し出しします。

イベント

調べもの戦隊レファレンジャー

7月21日(金)～8月31日(木) 9:00～17:00
10階＝児童書コーナー ※予約不要

自由研究や読書感想文用の本など、夏休みの宿題に役立つ本を、レファレンジャーと一緒に探します。
※8月7日～10日は四番町図書館にも出動！



児童書テーマ展示 10階＝児童書コーナー

開催中～8月31日(木)「夏休みにおすすめの本」、9月1日(金)～9月30日(土)「まんまるおつきさまの本」、10月1日(日)～11月中旬「どくしょの秋」

座談会「2紙の編集長が語る、書評紙の役割」

9月8日(金) 19:00～20:30
9階＝特設会場 ※申込不要

「週刊読書人」と「図書新聞」の編集長が、書評紙の役割や書評紙に求められること、掲載する本の選び方、出版業界の現状と裏側などを語ります。

赤ちゃん向けおはなし会

毎月第2木曜日11:00～11:30
10階＝子ども室
※申込不要

みんなで楽しめる絵本の読み聞かせやわらべうたなどを行います。お子さんと保護者だけでなく、妊婦さんもお越しください。

おはなしトレイン・BOOK TRAIN展示

7月21日(金)～8月31日(木)
9階＝第2展示ウォール 10階＝児童書コーナー
乳幼児から中学生におすすめの本を年齢(学齢)ごとに展示します。

情報探索講習会「雑誌記事の探し方」

9月27日(水) 19:00～20:30
9階＝第1研修室 ※申込制
オンラインデータベースやインターネット情報、書籍などを利用した雑誌記事の初歩的な探し方を紹介します。

情報探索講習会「図書館の使い方講座」

10月18日(水) 19:00～20:30
9階＝第1研修室 ※申込制
効率のよい資料検索や調査方法を紹介します。

ほかにもイベントを多数開催！
詳しくはホームページで。

図書館からこの一冊

『逝きし世の面影』

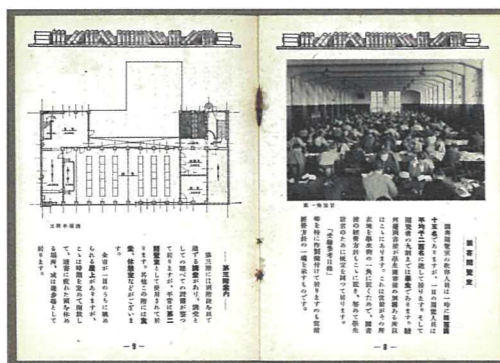
渡辺京二著(平凡社ライブラリ)

世の中を見回すと英国のEU離脱、トランプ氏の大統領選出や北朝鮮情勢など、ちょっと落ち着かない世の中ですね。日本では2020年に東京オリンピックを控えています。世界の中で日本はどう生きていくのが正解なのでしょう。そうした思いを巡らすとき、この本が脳裏に浮かんできます。幕末から明治維新の時代に滞在した外国人が見たありのままの日本の姿。日本文化の本質が見えてくるようです。その内容を礼賛するのでも否定するのでもなく、何かを感じる、それだけで良いような本です。1999年「第12回 和辻哲郎文化賞」を受賞しています。(館長・小出)



大正から昭和初期の図書館

千代田図書館の前身となる東京市立一橋図書館時代と駿河台図書館時代の日誌などの業務資料が発見され、「一橋・駿河台図書館業務資料」として135点の資料を整理しました。日誌、閲覧料日簿、図書購入関係綴など、大正12年から昭和30年頃に作成された資料からは、当時の様子を具体的に読み取ることができます。



「東京市立駿河台図書館案内」(昭和7年)

駿河台図書館は、大学が立ち並ぶ学生街に立地していたため、利用者の9割を学生が占めており、別名学生図書館とも呼ばれていました。図書館の方針も学生にとって利便性の高いサービス提供を掲げており、良い参考書を収集・収蔵していると明示しているほか、現代のレファレンスサービス(資料調査)に当たる「参考事務」という名のサービスを行っており、本冊子に次のように記されています。「駿河台図書館では何事にも拘らず調査研究に必要な参考図書の間合せに悦んで応答して居ります。或る事項に調査の必要を感じた場合御遠慮なくお問合せ下さい。(後略)」この他にも学生をターゲットとしたサービスや活用術などが記載されており、当時の図書館も地域特性に合わせたサービスを行っていたことがわかります。

雲のくもりにうもれていたり
はつきり白くはありませぬ
そこから顔をあげてみる
見渡す色は青くてきれいな

イラストエッセイ

岡田里



ご利用案内

■URL <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp>
■Facebook <https://www.facebook.com/lib.chiyoda>

千代田図書館

千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10F ☎03-5211-4289・4290
開館時間 月～金▶10:00～22:00 土▶10:00～19:00
日・祝・12/29～12/31▶10:00～17:00
※夏期は9:00開館
休館日 第4日曜日、1/1～1/3、特別整理期間
アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅 4・6番出口より徒歩5分

日比谷図書文化館

千代田区日比谷公園1-4 ☎03-3502-3340
開館時間 月～金▶10:00～22:00 土▶10:00～19:00
日・祝▶10:00～17:00
休館日 第3日曜日、12/29～1/3、特別整理期間

四番町図書館

千代田区四番町1 ☎03-3239-6357
開館時間 月～金▶9:00～20:00 土▶9:00～19:00
日・祝▶12/29・30▶9:00～17:00
休館日 第1日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

昌平まちかど図書館

千代田区外神田3-4-7 ☎03-3251-5641
開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00
休館日 第2日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

神田まちかど図書館

千代田区神田司町2-16 ☎03-3256-6061
開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00
休館日 第3日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

ちよだパークサイドプラザ区民図書室

千代田区神田和泉町1 ☎03-3864-8931
開館時間 月～土▶9:00～19:00 日・祝▶9:00～17:00
休館日 第3日曜日、年末年始、特別整理期間

千代田区男女共同参画センターMIW

千代田区九段南1-2-1千代田区役所10F ☎03-5211-8845
開館時間 月～金▶9:00～21:00 土▶9:00～17:00
休館日 日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間

千代田Web図書館

URL <https://weblibrary-chiyoda.com> ※電子書籍の貸出サービス

コンシェルジュが
ゆくゆく

図書館
コンシェルジュが
楽しい街情報を
おすすめ!



見ておきたい千代田の建物

多くの歴史を刻み、人々に親しまれ、まちの景観をつくる上で重要な建造物などを、千代田区では「景観まちづくり重要物件」に指定しています。今回はその中から、図書館の近くにある建物を紹介します。

◆図書館バックヤード◆

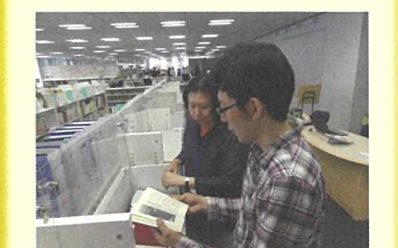
7月26日より開催の展示が90回目となる出張古書店コーナー「としょかんのこしょてん」は、神田古書店連盟との連携展示です。連盟から選ばれた担当古書店の方が、自店の古書(商品)をもとに、展示会名や内容を決め、キャプションなどを作成して、8連のケースの中にひとつのテーマに沿った展示を作りあげています。
※写真は前回の山吹書房の展示風景です。



展示初日までに古書店から届いた展示内容案をもとに、古書店と図書館の双方でやり取りしながら、ある程度まで内容を固めていきます。最終調整は展示作業当日です。見やすさや展示の流れなどを相談し、展示品を厳選しながらテーマに沿って見てもらえるように並べていきます。



展示作業が終わったケースを覗いてみると、古書店の方だからこそ表現できる古書のテーマ展示ができあがっているの、その専門分野や特色がとても良くわかります。当然のことながら、新刊書店にはすでに並んでいない本も多いので、見たことのない貴重な本を発見できる可能性もあります。



7月26日から9月12日までは、南海堂書店が担当の「としょかんのこしょてんVOL.90 歴史をひもとき、未来へつなげる」というタイトルで、さまざまな古文書を展示します。来館されたときにはお立ち寄りください。

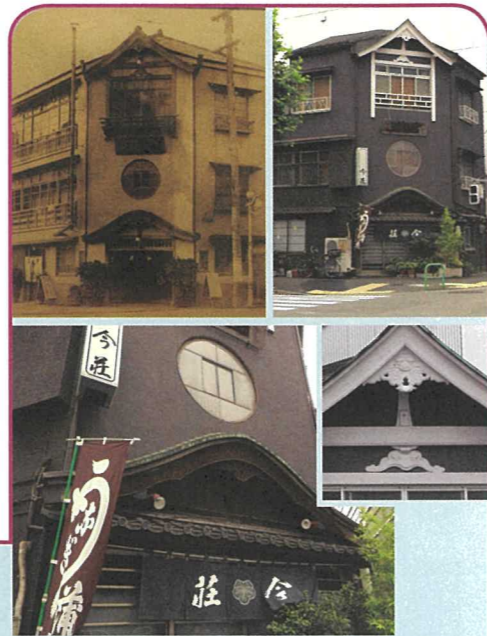


Spot 1 千代田図書館付近 今荘 竣工:昭和8(1933)年頃

明治期に牛鍋屋として創業、四代目となる現在のはうなぎ料理店です。現在の建物は昭和8年に建てられました。当時洋風に追随した市街地ビル建築などが流行する中で、木造の店舗に和洋折衷の独自のデザインを取り入れた建物が現れました。震災復興の区画整理でできた角地をいかした木造3階建てで、その正面部分が印象的です。当時は食堂と牛鍋屋の2つの形態で営業していたため入口が2つありま

した。寺社などに見られる形式を用いているのが特徴で、入口上部には唐破風、その上には和風とも洋風とも取れる大きな明り取りの丸窓があります。最上部には神社のような千鳥破風や、カエルが踏ん張っているようにも見える蟻股を持つ和風の白いフレームが茶色の壁に際立って見えます。神保町のはずれでノスタルジーを感じる一角です。

【住所】神田神保町3-15-1



Spot 3 四番町図書館付近 区立九段小学校(2018年7月復元完了予定) 竣工:大正15(1926)年

現在、工事中の九段小学校は、関東大震災後の復興小学校として創建しました。平面計画はコの字型で、公園を隣接させるという、復興小学校の基本的な配置計画がそのまま残っています。来年完成する新校舎は、東郷元帥記念公園に面した西棟を創建当時のまま残し、内部や外壁も当時に近い形で改修するほか、一部失われていた煙突部分を復元します。一度解体した北棟の南面は、西棟同様に建築の特徴でもある校庭に面したファサード・建物正面デザインを創建時の姿に近づける形で復元します。アーチ屋根の時計塔や、尖ったアーチ窓とその

下に連立する縦長の窓などは、大正期を中心に起こった表現主義と呼ばれるスタイルです。創建時の姿が甦る来年を楽しみに待ちましょう。

【住所】三番町16



Spot 2 日比谷図書文化館付近 市政会館・日比谷公会堂 竣工:昭和4(1929)年

市政会館・日比谷公会堂は、後藤新平が設立した財団(現、後藤・安田記念東京都市研究所)の本拠と2000人規模のホール(日比谷公会堂)を合築した施設として落成しました。中央にそびえる時計塔と茶褐色のスクラッチタイルの外壁が特徴的なネオ・ゴシック様式の建物です。内部にも竣工時のようすを残したCUTLER社のメールシュータや、美しく磨かれたYALE社の真鍮のドアノブのほか、当時は塔時計と館内時計の親時計だった正副2台の振り子時計などがあります。1階の壁面は設計者・佐藤一のこだわりの1つで、少しずつ色味の違う青系のタイルが貼られています。公園側に出入口のある日比谷公会堂には、公園を臨むバルコニーや、多くの方が出入りするホールのための大階段などがあり、市政会館とは違った顔が見えます。公会堂は現在閉鎖中ですが、市政会館では見学会も行われているのでホームページをチェックしてみてください。

【住所】日比谷公園1-3



▲市政会館



▲日比谷公会堂



Spot 4 昌平まちかど図書館・神田まちかど図書館付近 竹むら 竣工:昭和5(1930)年

池波正太郎も通ったことで知られる「竹むら」は、震災復興時の昭和5年に開業しました。造りは社寺建築などに多く用いられる入母屋という屋根に特徴のある木造3階建てです。二代目店主の保存に対する思いから、修復が必要となるにもなるべくその物に近い素材を探すなどして、建物の維持をされているそうです。そのため、欄間職人によって作られたという軒下の提灯や、2階部分の笹と梅の飾り彫りのある手すり、内装の細かな箇所に至るまでほぼ当時の姿が保たれています。竿天井に玉砂利の洗い出しのたたき、竹で組まれた欄間、結晶ガラスなどを眺めながら、創業当時から変わらぬ自家製の甘味をいただくと、約90年の時を超えた風情を存分に味わうことができます。

【住所】神田須田町1-19



そのほかの景観まちづくり重要物件は「千代田区ホームページ」で!
URL: <https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/machizukuri/kekan/shite.html>